

調査概要

1. 調査趣旨

前回調査以降、県道 磐田掛川線、市道 川井山梨線の整備や土地区画整理事業及び工業団地の整備等により、本市における交通の流れと量は、大きく変化している。また、平成 17 年の旧袋井市・旧浅羽町合併から 6 年経過しており、市全体の交通量を把握する必要がある。

調査結果は、道路計画策定や交通安全対策、店舗や工場進出の参考資料等、幅広く役立てられることから、本調査を実施した。

2. 調査日時

平成 23 年 9 月 27 日（火） 7：00～19：00（12 時間調査）【地点 25 ～ 地点 42】

平成 23 年 9 月 29 日（木） 7：00～19：00（12 時間調査）【地点 1 ～ 地点 24】

平成 23 年 10 月 3 日（月） 7：00～19：00（12 時間調査）【地点 43 ～ 地点 66】

3. 調査内容

本調査は、市内 66 箇所の交差点において、交差点方向別交通量調査を実施した。

4. 調査方法

- ・交差点の停止線を通過する車両の台数を車種分類別、方向別に計測する。
- ・調査員は「数取器」による手観測にて 1 時間単位で計測する。
- ・車種分類は、動力付き二輪車類・乗用車・バス・小型貨物車・普通貨物車の 5 車種分類とする。

車種分類		
種 別		内 容
動力付き二輪車類		自動二輪車、原動機付自転車
乗用車類	乗用車	ナンバー 3、5、7
	バス	ナンバー 2
貨物車類	小型貨物車	ナンバー 4、6
	普通貨物車	ナンバー 1、8、9、0

※8 ナンバー車は形状判断とする。

○用語解説

大型車類計 . . . バス及び普通貨物車の和で、大型車類の通過合計台数を示す。

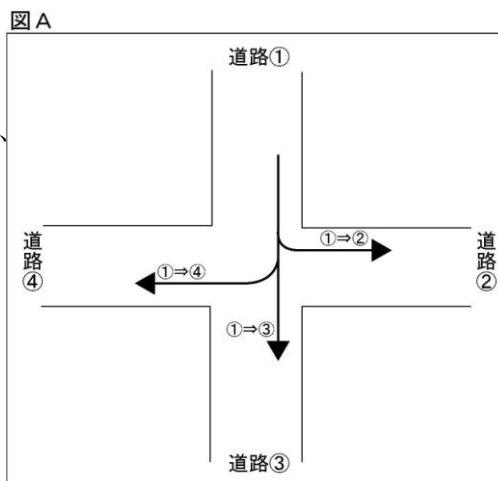
自動車類合計 . . . 動力付き二輪車類を除く、乗用車類と貨物車類の通過合計台数を示す。

大型車混入率 . . . 大型車類計と自動車類合計の商で、%で示す。これにより、全体に占める大型車類の割合が確認できる。

道路番号 . . . 北から時計回りに①、②、③、④、⑤という順番に道路に番号をつけている。

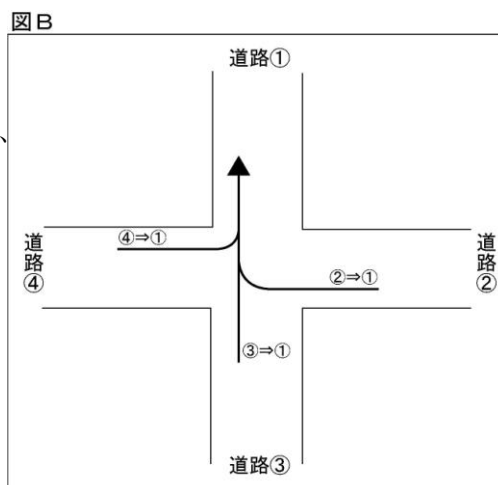
流入 . . . 各道路から交差点に進入する車両をいう。

図 A での道路①の流入とは、
①⇒②、①⇒③、①⇒④。



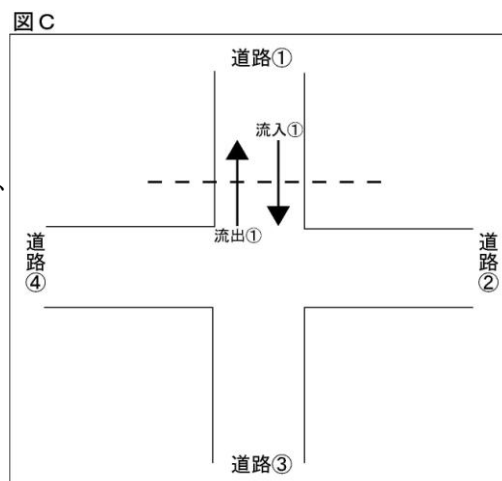
流出 . . . 交差点から各道路へ進出する車両をいう。

図 B での道路①の流出とは、
②⇒①、③⇒①、④⇒①。

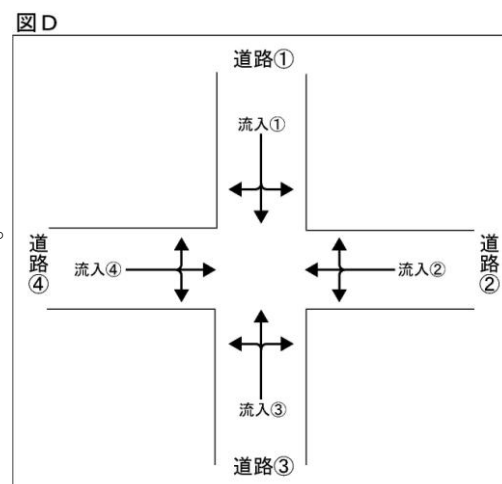


※交差点中心から見たときの車両の流れから、「流入」と「流出」を判断する。

断面交通量 . . . 交差点における各道路の交通量を断面別に示したもので、交差点から各道路へ進む車両の台数（流入）及び、各道路から交差点へ進む車両の台数（流出）をいう。図Cの道路①の断面交通量とは、流入①と流出①の車両の台数。



交差点合計 . . . 交差点を通過する車両の総数。交差点における各道路の流入車両の総数が、その交差点の通過台数となり、交差点合計として示される。図Dの交差点においては、道路①の流入、道路②の流入、道路③の流入及び道路④流入の車両の総数。



時間変動図 . . . 交差点を通過する自動車類の交通量を道路断面ごとに時間単位でグラフ化したもの。

交通流帯図 . . . 各道路における車両の流入台数及び流出台数を図化したもので、帯の太さにより、交差点における自動車類の通過台数の多少を判別できる。

交通流量図 . . . 各道路における車両の流入台数及び流出台数を図化したもので、交差点における全車種分類の交通量を流入、流出別に判別できる。